事業番号	09 05 14	事業改善シート(25年度実施事業分) □ラウ	算要求	口当初予算第	案 □補正予算案 <b>■</b> 点検
事業名	田休労	土地改良事業(公共【生産基盤、農村整備】)		部局	農政部
尹 禾 石	四个四	工地以及事果(公共【土座基盤、展刊金加】)	担当	課∙室	農地整備課
40 A = 1. F	プロジェクト		課	E-mail	nochi@pref.nagano.lg.jp
総合5か年 計画	施策の総合的展	1-3 夢に挑戦する農業			
ш	旭泉の総百町展	2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		実施期間	S27 ∼

## 1 事業の概要

目指す姿		「第2期長野県食と農業農村振り	興計画.	い排水施設整備、農道整備、総合的な生産」における期間内整備目標(H25〜H29) こが確保される農地面積 20,000ha	<b>崔基盤整備等</b>	に対して助成	を行う。	
現状				なや農道には、未整備のものや更新時期を設ける。 お計画的な整備が必要であり、市町村及び日			,	
県が関与		県でなければ実施不可(その	1机)	【左記の説明、根拠法令等】				
する理由	H	県民との協働による実施: 困難		国庫補助を有効活用しながら実施することな 土地改良法、農山漁村地域整備交付金交付	.,	- 0	助全态付更細	A
	(Î	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	: <u> </u>	工地级区区、展出版门地级正确入门业人	1 女师八 工产点	XX 尹 木 寸 III	<u>奶亚人门女师</u>	1
		·農業用用排水施設 ·農道 ·生産基盤		••				
	2	事業内容					25	单位:千円)
		項目	実施方法	法 H25事業実績		(当初)	(決算)	H26 (当初)
		団体営かんがい排水事業		市町村等が実施するかんがい排水施設	の堵体、堵	471,968	414,765	938,681
		" (H24繰越分)	補助金	金 強、更新への補助	7.111111111111111111111111111111111111		1,069,715	
<del>+</del> * + + +		〃(補正分)		36地区(交付先:市町村)			4,480	
事業内容		団体営農道整備事業	補助領	市町村等が実施する農道の補修等に対	する補助	102,526	52,162	145,259
		" (H24繰越分)	伸助组	型 2地区(交付先:市町村)			23,787	
		団体営土地改良総合整備事業	補助金	市町村等が実施する生産基盤等の整備		65,387	43,924	20,159
		" (H24繰越分)	THI 19/13	5地区(交付先:市町村)			59,996	
					合計	639,881	1,668,829	1,104,099

前年度繰越 81,798	425,091	1,203,486	
7		1,205,400	374,248
	1,151,819	639,881	1,104,099
事 額 補正予算 -62,017	900,784	224,224	
	2,477,694	2,067,591	1,478,347
国庫支出金 900,078 2	2,234,201	1,889,710	1,286,074
コ Aの 県 債			
対源   その他( )			
-般財源 169,420	243,493	177,881	192,273
ト 決 算 額(B) 643,387 1	1,257,210	1,668,829	
概 算 職員数(人) 12.30	15.30	14.20	14.20
人件費 概算人件費 (C) -	-	-	-
概算事業費(B(A)+C) 643,387 1	1,257,210	1,668,829	1,478,347

	成果目	標の達成	状況		
項目	H24末		H25		H26
75日	(実績)	目標	成果	達成状況	目標
農業用用排水施設 の整備補助	19地区	36地区	36地区	達成	
農道の整備補助	3地区	2地区	2地区	達成	
生産基盤の整備補 助	4地区	5地区	5地区	達成	
干ばつ被害の軽減 面積	_	95ha	95ha	達成	
末端農業水利施設 の整備延長					94km

目標に対 する成果 の状況

・かんがい排水施設、農道、総合的な生産基盤の整備等を行うことにより、施設の機能が確保された。

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業 をどのよう
をどのよう
_
にしていき
t-1.1th

□ 事業を実施しない □ 事業を見直して実施 ■ 事業を現行どおり実施

・平成26年度は、事業実施計画等に基づき必要な予算を確保し、計画的な執行に努める。

生産性の向上や維持管理費の節減による農業経営の安定化のため、引き続き農業生産基盤の整備を計画的に行っていく。